

# アルベトレッペとは?

## ALBETREPPE

茨城は  
いいモノあるべ、いいモノとれっぺ。

アルベトレッペは、茨城の良いモノやコトを  
全国へ、世界へ紹介していくプロジェクトグループです。

日本全国どこに行っても、似たようなものばかり。「名物」や「特産品」は、どこかの焼き直しや、何かのモノマネばかり。ちょっとだけ話が先行したり、プロモーションが話題になったりしたものだけが、もてはやされています。そんな大量生産・大量消費・大量廃棄の「ファスト・エコノミー」の時代も、そろそろ終わりの兆しが見え始めています。

経済最優先の今までの価値観から、精神的満足を満たす暮らしへの移行。大都会発の情報が本当にいいものばかりなのではないでしょうか? 実はそれはニューヨークやパリの模倣だったりします。価値観が変わりつつある今だからこそ、地方から見えるものがあるのではないだろうか。「ブランド力のない」茨城だからこそ、できることがあるのではないだろうか。茨城発の新しい価値観を、全国へ世界へ紹介していきたい。茨城の暮らしに根づく「価値」にもう一度光をあて、きちんと発信していくべきだ。私たちはそんな事を考えて、あれこれやって

みようよ、自然発生的に集まったグループです。

本気で暮らしを楽しんでいる個性豊かなメンバー達が、茨城の本当に良いものの情報を、いろいろなカタチでお届け致してまいります。よろしければその仲間にもなりませんか? 地元の方はもちろんですが、茨城にご縁がなくても大歓迎。フェイスブックやホームページも是非ご覧ください。



■主なメンバー  
会社経営者、農家、養豚家、漁業、養蜂家、金融機関社員、団体職員、編集者、ライター、グラフィックデザイナー、Webデザイナー、ラジオパーソナリティ、システムエンジニア、ラジオディレクター、フォトグラファー、インテリアデザイナー、市議員、大学教授、主婦など

メンバー募集中!  
詳しくはHPで!

〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町313-1(有)ビーハビィ・エンタープライズ内  
代表 山本恵 Tel.029-246-2848

<http://albetreppe.jp/> mail: [info@albetreppe.jp](mailto:info@albetreppe.jp)

# ALBETREPPE

茨城にはいいモノあるべ、いいものとれっぺ。新しい価値を見つけるプロジェクト!  
アルベトレッペの広報誌 Vol.2 2012年夏号(不定期) <http://albetreppe.jp/>

通信

## 足元の宝を見つける。



フェイスブックで集まった常陸大宮市の有志が勝手に作った「AYU ready?ステッカー」通称「アユステッカー」は、アユの解禁日6/1に合わせて販売をスタート。市内はおろか市外・県外からも「欲しい」の声が殺到。現在、静かに人気沸騰中です。実は常陸大宮市の西を流れる那珂川はアユの漁獲量日本1位、東を流れる久慈川は2位。だから常陸大宮市はおそらく「アユ日本一」なのですが、市もそれを宣言していないし、ほとんどの市民はその事実を知らませんでした。せつかくの魅力的なこの資源を活かさない手はない

のですが、行政がそれをやるとなるとなかなか難しいもの。ところがこれは市民が「勝手に」始めたプロジェクト。どこの団体を表すものでもないで、まさに勝手に放題。ただし、売上げの一部は街づくりのために常陸大宮市に寄付される仕組み付き。これが程よい使命感となって、このステッカーは口コミでどんどん広がっています。雄大な大自然の景色があるわけでもなく、有名な名所旧跡もないと、自らを卑下しがちだった常陸大宮市民に、元気をもたらしたのは昔から見慣れたアユでした。四国高知、四万十川の物産を次々にヒット商品にして全国へ送り出しているデザイナー梅原真さんの言葉「足元に宝は眠っている」。その一つが県北で掘り起こされました。アユはふるさとへ帰って来る魚です。このステッカーは「みんな常陸大宮へ帰ろうよ、集まろうよ」という想いも込められています。 AYU ready? [倉田稔之]

# こんな事を楽しくやっています。ぜひご参加ください。

ここでは、仕事や日常の暮らしではできない夢を実現するステージです。会員の熱い想いが集まって、そこからアイデアや企画が生まれています!

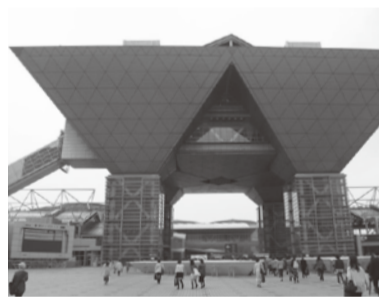
## 「アルベトレッペ食堂」シンポジウムを開催しました。



2月19日(日)14時~16時、文化デザイナー学院で、「アルベトレッペ食堂」シンポジウムを開催しました。11月に開いた「アルベトレッペ食堂」の意味や意義を語り合う、まとめの会です。第一部は、3校合同で学生チームを組んだ、文化デザイナー学院、大成女子高校、茨城大学人文学部の学生たちがそれぞれの担当分野に関して報告を行い、指導にあたった教員を代表して小原規宏さんが学生チームが果たした役割をコメントしました。続いて、石井邦明さんに「貫一チーム」のデザインのコンセプトや、チームとして目指したものを話していただき、イベントの責任者であった菊池一俊さんがまとめの発言をされました。第二部は、菊池一俊さん、倉田稔之さん(茶ノ逢チーム)、佐藤正和さん(アルコイリスチーム、学生チーム)、山辺吉子さん(ヴァイツェンチーム)、斉藤正紀さん(好チーム)の5人がパネリストとなり、各チームがこだわったこと、当日の感想、イベント後の動きなどを語り合いました。フロアのみなさんからも多数の発言があり、司会の西野由希子さんがこのイベントは次につながる大きな意味を持ったと締めくくりました。なお、本シンポジウムに合わせて刊行された《「アルベトレッペ食堂」報告書》は、現在、残部わずかとなっています。



## 第5回ホビーッキングフェア2012に出店しました。



4/26(木)、27(金)、28(土)、東京ビッグサイトで開催された第5回ホビーッキングフェア2012に、茨城のいいものをどっさり抱えて参加してきました。昨年のアルベトレッペ食堂に出た方々等からご協力をいただき、15種類の食品、2種類の工芸品を出品。三日間で約14万人の人出だったそうですが、販売はなかなかムズカシイ。直接消費者の声を聞ける貴重なチャンスを体験してきました。



## アルベトレッペサロン



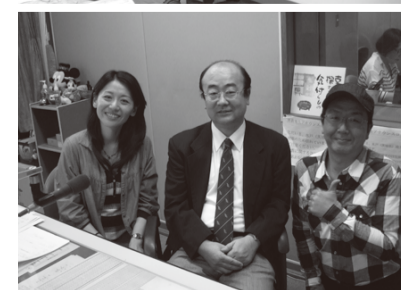
毎月一回(主に夜)、ゲストスピーカーを迎えてそのお話を聞いたり、様々なテーマについて、気軽に話し合う、お茶をいただきながらの談話会。しっかり定着して楽しみになっています。「夢の種」が大きなコンセプト。お気軽にご参加いただいています。詳しくはHPでもご案内中。

## アルベトレッペがラジオ番組を持ちました!



IBS茨城放送、土曜日の人気番組notes。ノーツの番組中に、月1回ですが、10分間、アルベトレッペのコーナーをいただける事になりました。茨城のいいものを見つけて発信しようという私たちの活動と、番組の理念が一致した結果です。番組のパーソナリティは、山田タボシさんと木村さおりさん。既に三回の放送を終了。スタジオでパーソナリティのお二人にメンバーがサポートされながらの生放送。電話を介しての中継も織り交ぜた中味の濃い構成です。(中継レポーターもメンバーです)ぜひ聞いてみてください。10分じゃ足りない! 目指せ30分枠!(笑)

結果です。番組のパーソナリティは、山田タボシさんと木村さおりさん。既に三回の放送を終了。スタジオでパーソナリティのお二人にメンバーがサポートされながらの生放送。電話を介しての中継も織り交ぜた中味の濃い構成です。(中継レポーターもメンバーです)ぜひ聞いてみてください。10分じゃ足りない! 目指せ30分枠!(笑)



IBS茨城放送  
1197kHz 水戸  
1458kHz 土浦  
notes。ノーツ  
アルベトレッペ通信  
毎月第三土曜日  
14:45 ~ 14:55